

部品交換要領書

玄関ドア プロント[PD型]、ヴェナート[JD型]用
プッシュプルハンドル クリープタイプ

HHW12-155
2016年6月発行



作業の前に必ずお読みください

部品交換・調整についてはお客様ご自身の責任のもと行ってください。
部品交換・調整に伴う事故や破損については、当社は一切の責任を負いかねます。
部品交換・調整手順が不明の場合は、パーツセンターホクセイまでお問い合わせください ☎ 077-621-0821

作業にあたって

部品を正しく交換していただくために、本説明書の内容をご理解いただき作業を行ってください。
部品取り付け用ねじを最後まで正しくしめつけてください。(不具合の原因となりますので、電動工具は使用しないでください。)
安全のため、安全上の注意事項にしたがって作業を行ってください。

安全上の注意事項

お願い

強風や大雨など悪天候時は、ドアが急に閉じる危険がありますので作業は行わないでください。
取りはずしや仮置きの際、傷をつけないよう床や部品をダンボール等で保護してください。
素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。

同梱されているもの

プッシュプルハンドル	取付ねじ	部品交換要領書
 HH-4K-13B71(72) 1 セット	 錠ケース取り付け用： 皿 M4×16×2 本  取付板取り付け用(ドア厚 36)： 皿 M5×15×4 本  取付板取り付け用(ドア厚 42)： 段付皿 M5×22×4 本  室内側ハンドル取り付け用： 丸皿 M5×10×2 本	 本書 1 枚

作業のために準備していただくもの

プラスドライバー
  1 本

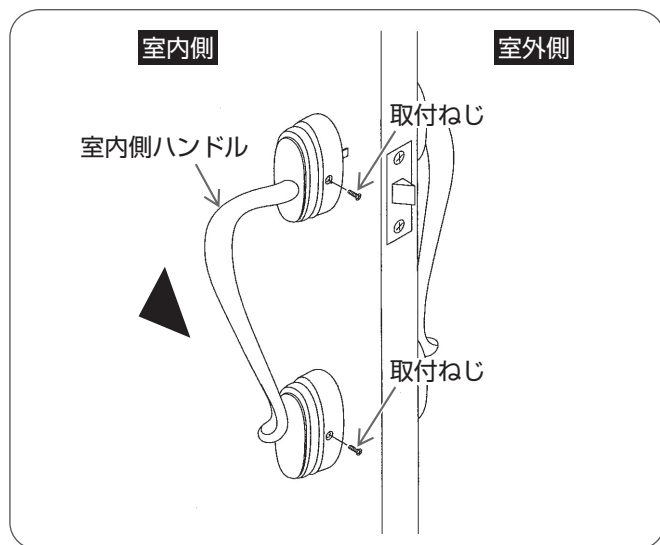
※部品が全てそろっていることを確認してください。

部品の取りはずし方

お願い

素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。

1 室内側ハンドルの取りはずし



※本図は、右勝手で説明しています。

室内側よりプラスドライバーで室内側ハンドルの取付ねじをはずし、室内側ハンドルをはずす。

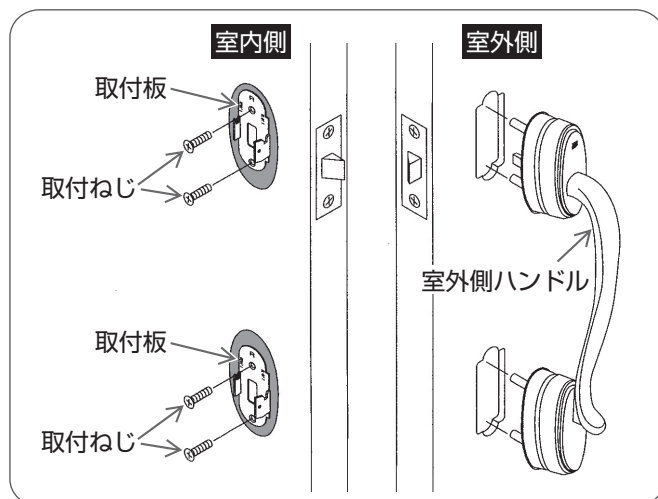
※部品の取り付け方は 3・4・5 ページをご覧ください。

部品の取りはずし方

お願い

素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。

2 室外側ハンドルの取りはずし

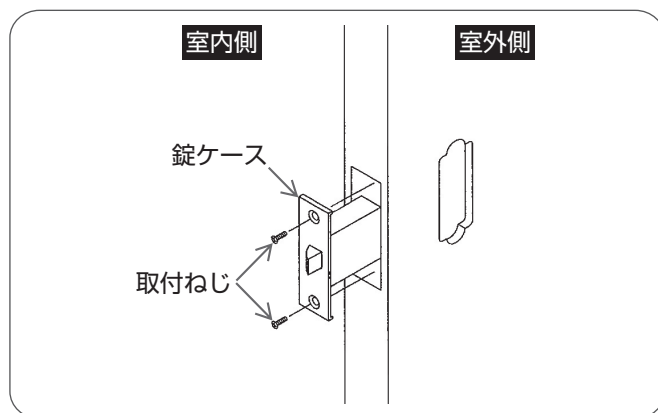


※本図は意匠の異なるタイプのハンドルで説明しています。

室内側よりプラスドライバーで取付板の取付ねじをはずし、取付板および室外側ハンドルをはずす。

※取付ねじをはずすと、室外側ハンドルがはずれます。落下にご注意ください。

3 錠ケースの取りはずし



プラスドライバーで錠ケースの取付ねじをはずし、錠ケースをはずす。

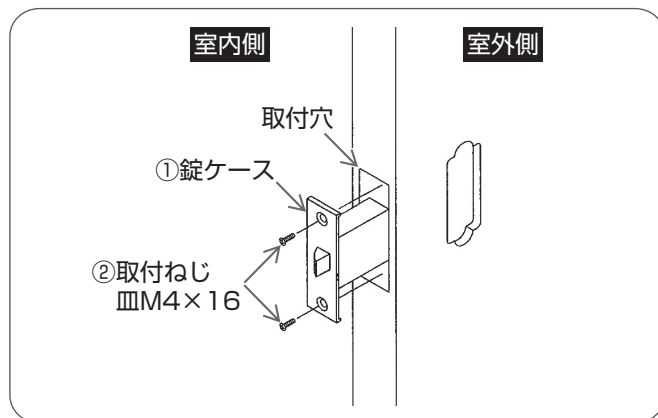
※部品の取り付け方は3・4・5ページをご覧ください。

部品の取り付け方

お願い

素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)で怪我をすることがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。

1 錠ケースの取り付け

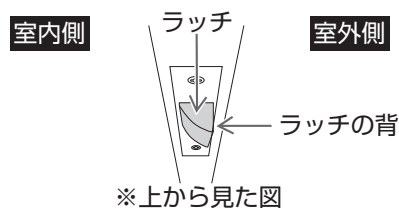


①ラッチの背(フラットの面)が室外側に向くようにしてラッチケースを取付穴に差し込む。

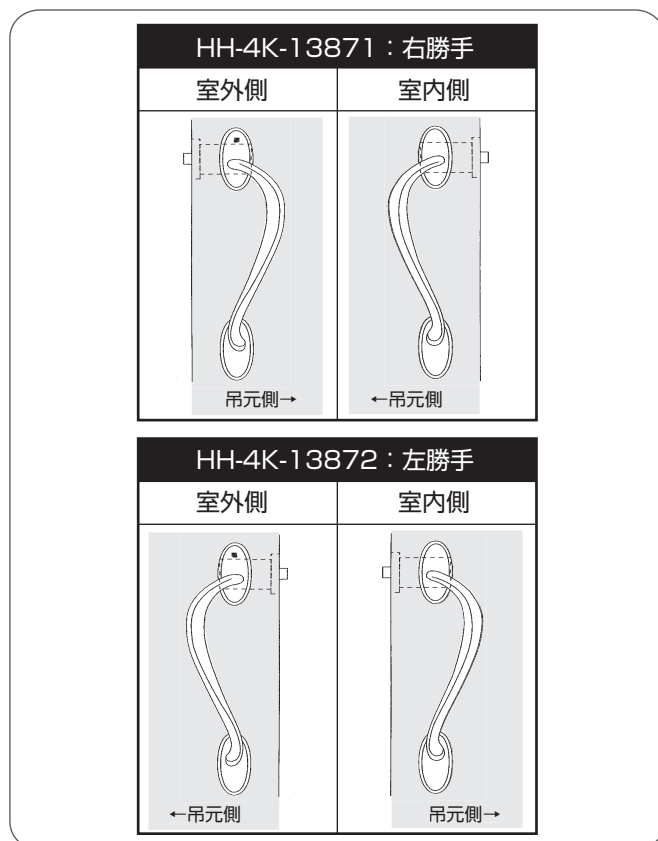
※本図は右勝手で説明しています。

②プラスドライバーで取付ねじをしめる。

※ラッチの向き



2 ハンドル取付状態の確認



品番に合わせて室外側および室内側ハンドルの取付状態を確認する。

※HH-4K-13871：右勝手

HH-4K-13872：左勝手

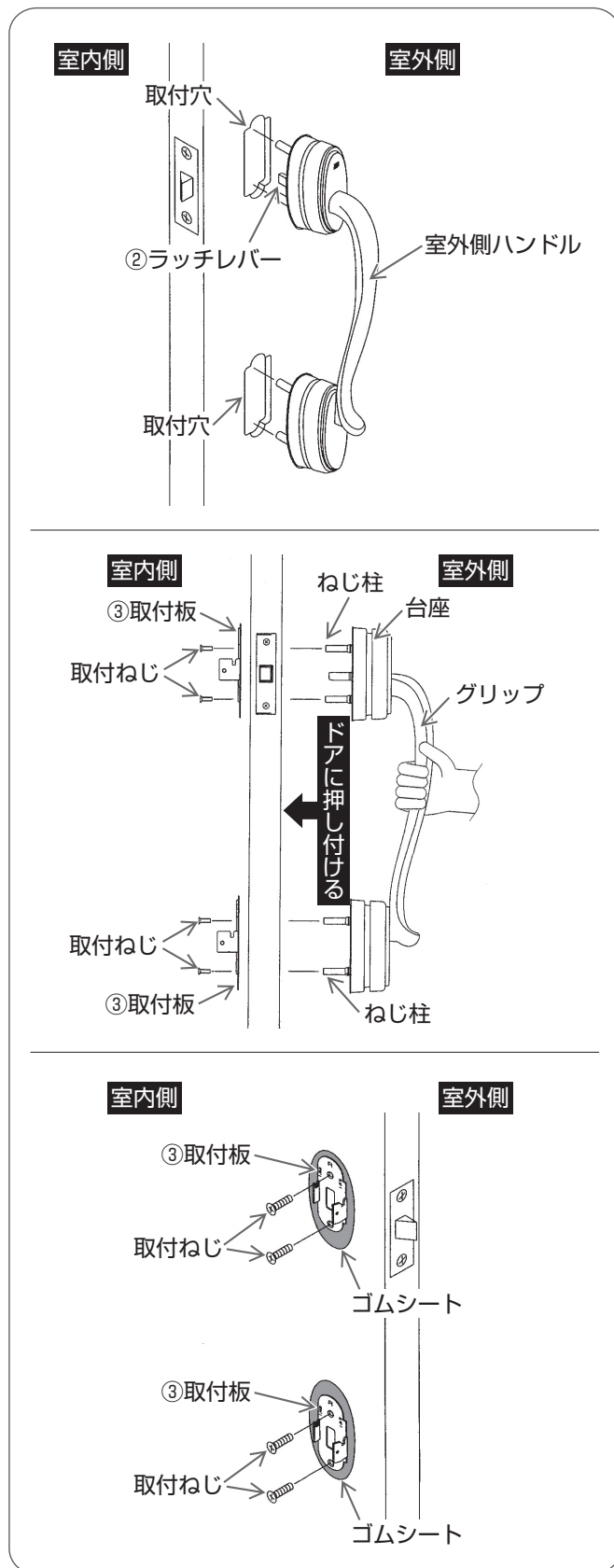
※部品の取りはずし方は1・2ページをご覧ください。

部品の取り付け方

お願い

素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。

3 室外側ハンドルの取り付け



※本図は意匠の異なるハンドルで説明しています。

① ドア厚に合った取付ねじを確認する。

※間違ったねじを使用するとハンドルのガタつき、ドアのへこみの発生や、ハンドルが脱落するおそれがあります。

アルミドア：ドア厚 36mm 用

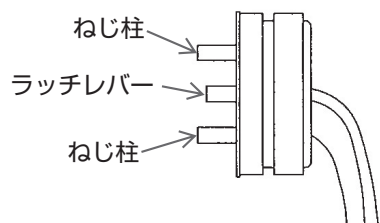
皿M5×15×4本

断熱ドア：ドア厚 42mm 用

段付皿M5×22×4本

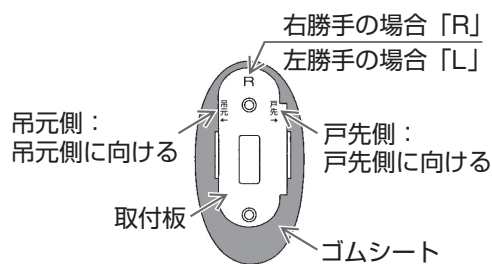
② 室外側より室外側ハンドルのラッチレバーを上にして、グリップ部を持って取付穴に差し込む。

※ラッチレバー詳細図



③ 室内側より取付板の向きを刻印に合わせ（下図参照）ながら室外側ハンドルのねじ柱と合わせる。

※取付板刻印詳細図（図は右勝手の取付板）



④ グリップを持ってハンドルをドアに押し付けた状態で室内側からプラスドライバーで取付板の取付ねじを仮止めする。

⑤ ハンドルの動きの良い位置に取付板を調整し、プラスドライバーで取付ねじをしめる。

※取付板を取り付ける際、ドア面にゴムシートの上部を密着させてください。

※ハンドルの取り付けが困難な場合は、2人以上で作業を行ってください。

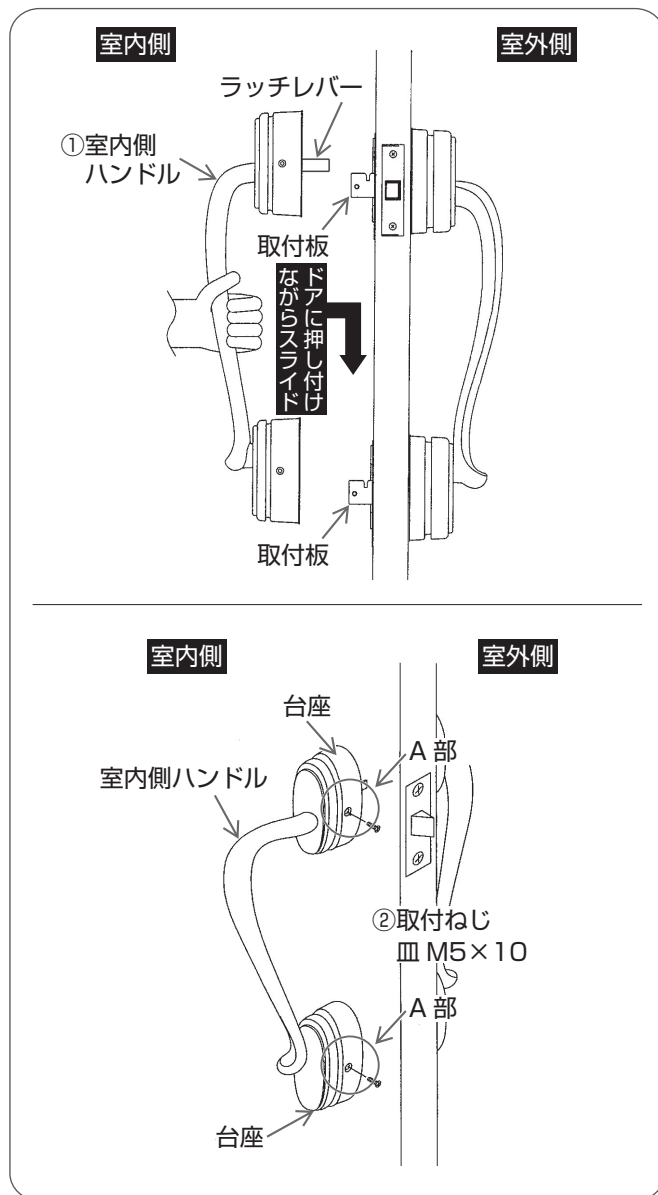
※部品の取りはずし方は1・2ページをご覧ください。

部品の取り付け方

お願い

素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)で怪我をすることがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。

4 室内側ハンドルの取り付け

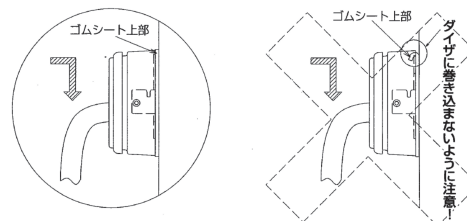


①室内側よりラッチレバーを上にして、室内側ハンドルを取付板に合わせて差し込み、ドアに押し付けながら下側へスライドする。

【室内側ハンドル取付時の注意事項】

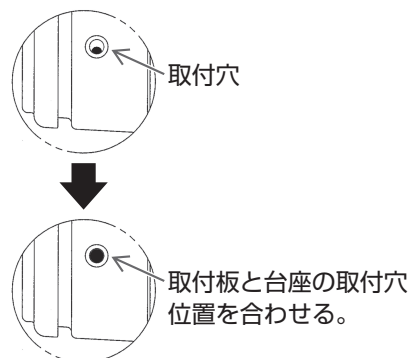
室内側ハンドルを取り付ける前にゴムシートの上部がドア面に密着していることを確認してください。

ハンドルをスライドする際、台座にゴムシート巻き込まないようにご注意ください。



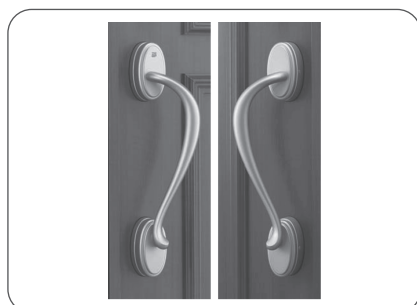
②ハンドルをドアに押し付けながら取付板と台座の取付穴の位置を合わせ、プラスドライバーで取付ねじをしめる。

※A 部詳細図



③取り付け後、ハンドルの動きが重い場合、取付板の位置を上下左右に調整し、再度取り付ける。

部品の交換後のチェック



- ①部品にガタつきがないことを確認してください。
- ②取付ねじの締めつけすぎで部品が変形していないことを確認してください。
- ③ハンドルを動かしてドアを開閉し、開閉に支障がないことを確認してください。
- ④取付ねじを強く締めると、施解錠が固くなる場合がありますので、その場合は取付ねじの締めつけを調整してください。

※部品の取りはずし方は 1・2 ページをご覧ください。